

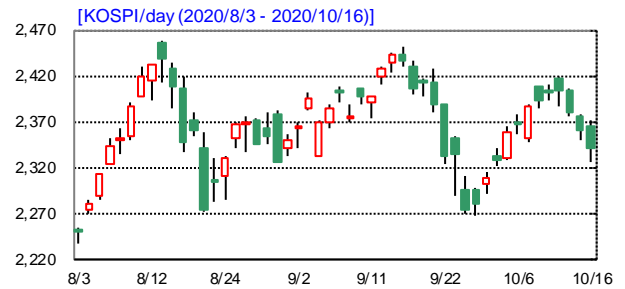


【韓国】 総合指数は週間で2.1%安と3週ぶり反落、今週は神経質な展開か

先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で2.1%安と3週ぶりに反落。連休明け12日は米国の景気刺激策への期待から上昇し、9月18日以来、約3週ぶり高値を連日で更新したが、13日以降は利益確定の売りが相場の重しとなり、4日続落と総じて軟調に推移した。新型コロナウイルスを巡っては、国内の1日当たり新規感染者数が再び3桁台となったほか、ワクチンの臨床試験の一時停止も伝わり、投資家心理を冷やした。一方、15日には世界的に人気の高い韓国の男性音楽グループ「BTS」の所属事務所が上場を果たした。市場の関心は高かったものの、収益性への懸念などから初日終値は初値を大きく下回った。今週は国内の感染状況や米国の経済対策をにらみ、神経質な展開が続くか。経済指標では、21日に9月のPPIが発表される予定。

▼指数チャート

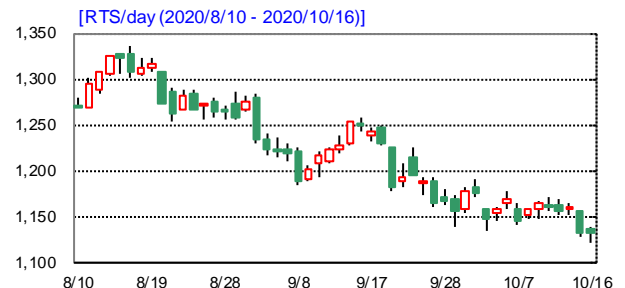


【ロシア】 RTS 指数は2.7%安と反落、今週は原油相場の動向に左右されるか

先週の動き／今週の展望

RTS 株価指数は週間で2.7%安と反落。新型コロナ感染再拡大で欧州株が下落した流れで15日に急落した。週明け12日から14日までは原油相場をにらんでもみ合ったが、15日に新型コロナの感染再拡大を嫌気して欧州株が大きく下げたことで、RTS 指数は前日比2.4%安。主要通貨に対する米ドルのほぼ全面高を受けてルーブルが下落したことも重なり、米ドル建てで取引される指数を押し下げた。RTS 指数は16日に一時1121.29ドルと5月15日以来の安値水準まで下落した。個別ではブレント原油相場が週間で0.2%高となったものの、ルスネフチが9.8%安、タネフチが6.5%安とエネルギー株が売られ、時価総額最大のズベルバンク・オブ・ロシアは2.0%安だった。今週はコロナ感染再拡大と原油相場をにらんだ展開か。

▼指数チャート



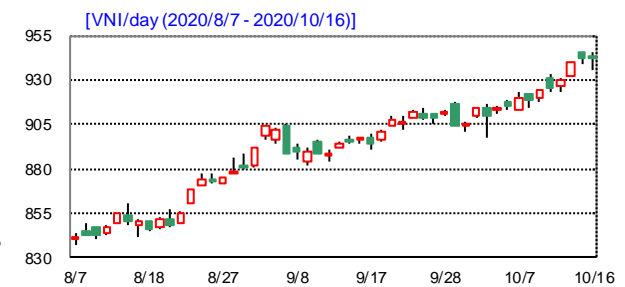
【ベトナム】 ベトナム指数は2.1%高と5週続伸、今週も好業績期待を背景に堅調か

か

先週の動き／今週の展望

VN 指数は週間で2.1%高と5週続伸。食品加工株や金融株が軒並み高となり、VN 指数は約8カ月半ぶりの戻り高値を更新した。海外投資家の買いが続く中、好業績期待を背景に食品加工のマサン・グループや金融株が上昇し、指数を押し上げた。VN 指数は前週の9日から16日まで6営業日続伸。16日には一時946.23ポイントまで上昇し、1月31日以来の戻り高値を付けた。個別では、サイゴンビール・アルコール飲料が2.3%下落したものの、マサン・グループが17.5%高となったほか、ベトインバンクが12.7%高、ベトナム投資開発銀行が4.6%高、ベトコムバンクが4.0%高と金融株が軒並み大幅高となった。不動産のビンググループも4.0%高と大きく上昇している。今週は好業績期待を背景に堅調な値動きが続くか。

▼指数チャート

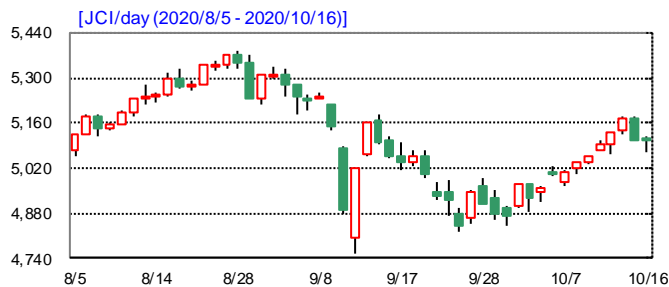


【インドネシア】

【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 1.0%高、中央銀行の量的緩和方針を好感

ジャカルタ総合指数は週間で 1.0%高と続伸。週半ばまでは前週の勢いを引き継ぎ堅調に推移した。週初の 12 日は前週末の NY ダウが 3 日続伸した流れで買われると、13 日は中央銀行が定例会合後の声明で、景気対策として量的緩和を進める方針を示したことが買い材料視された。14 日も上昇したが、15 日は金融株が下げを主導し、指数は終値で前日比 1.4%安と 9 営業日ぶりに反落。16 日は国内の新型コロナウイルスの累計感染者数がフィリピンを抜き、ASEAN 最多となった影響で続落して引けた。今週は国内の重要イベントが少なく、中国の 7-9 月期の GDP や 9 月の鉱工業生産の内容が意識されそうだ。

▼指数チャート

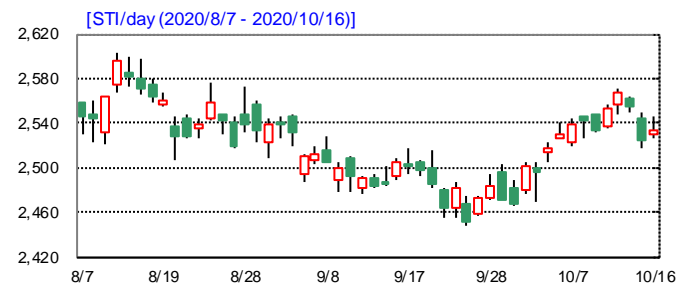


【シンガポール】

【先週の動き／今週の展望】スレーツタイムズ指数は 0.002%高、7-9 月期の GDP 速報値は前年比 7.0%減

スレーツタイムズ指数は週間で 0.002%高と横ばい。1 週間を通じて 2500 ポイント台で推移した。週前半は 7-9 月期の GDP 速報値の発表を 14 日に控え、楽観的な見方が広がったことを受けて上昇。14 日は速報値が前年同期比 7.0%減とほぼ市場の予想通りだったものの、米国の追加経済対策の協議難航が嫌気され、指数は反落した。15 日は欧州での新型コロナウイルスの感染拡大などの外部要因が指数を押し下げ、前日比 1.3%安と続落。ただ、16 日は 9 月の非石油地場輸出が前年同月比 5.9%増と 4 カ月連続で前年の水準を上回った効果で買い戻されて引けている。今週は 23 日に 9 月の CPI が発表される予定。

▼指数チャート

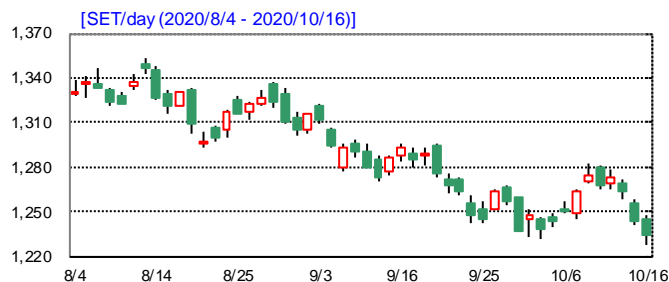


【タイ】

【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 2.6%安、反政府運動の拡大で下落

SET 指数は 4 日間の取引で 2.6%安と反落。反政府運動の拡大が投資家心理を冷やした。週初の 12 日は前週末に下落した反動で買い戻されたが、祝日を挟んだ 14 日は中央銀行がパート高で輸出産業が低迷する懸念を示した影響で反落。15 日は政府がデモ対策として、5 人以上の集会を禁止したことが嫌気され、指数は前日比 1.7%下落した。16 日も抗議活動は収まらず、一部のデモ参加者と警官隊の衝突が売り材料視され、3 日続落して取引を終えている。今週は 22 日に 9 月の貿易統計（通関ベース）が発表される予定。反政府活動の動向も引き続き意識されそうだ。23 日はチュラロンコーン大王記念日のため休場。

▼指数チャート

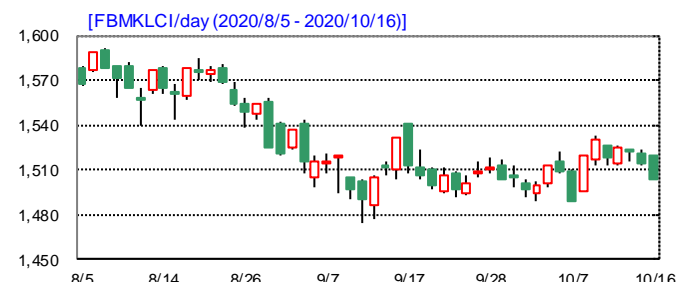


【マレーシア】

【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 1.7%安、政局の混乱を嫌気

クアラルンプール総合指数は週間で 1.7%安と反落。政局の混乱が指数下落を主導した。週初の 12 日は 8 月の鉱工業生産が前年同月比 0.3%増と 2 カ月連続で前年の水準を上回ったものの買い材料視されず反落したが、13 日は 9 月の中国の輸入額が市場予想から大幅に上振れた効果で反発。ただ、14 日に前日の NY ダウが反落した流れで売られると、15 日は世界経済の先行き不透明感に加え、議会過半数の支持を確保しているとして政権交代を主張するアンワル元副首相とムヒディン首相の権力闘争に対する様子見で指数は下落。結局、16 日まで 3 日続落して引けている。今週は 21 日に 9 月の CPI が発表される予定。

▼指数チャート



本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するにしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。